

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 日		～ 令和8年 4月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 日		～ 令和8年 4月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	子ども達一人一人の課題を通して、その子の成長にあった療育法を提供している。	引き続き、子ども達の将来場を見据えながら、細かいところまで分析を図り、子ども達の成長と職員の知識と技術面の向上を目指していく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	児童館、学童クラブを通して、レクリエーション、お弁当会など、地域の人たちとの交流の場を増やして活動の幅を広げている。	引き続き、情報交換しながら、地域全体で盛り上げていく。
3	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	事例検討、虐待研修、摂食障害についてなど、定期的に研修を行っている。	知識の向上の図る為、継続的に研修を行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	マニュアルに関しては、職員間で周知していますが、保護者の方に開示は行っていません。	今後、契約の時にマニュアルの開示し、説明を行っていく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	毎年クリスマス会を通して家族交流会を行っている。定期的には保護者同士の交流の場を作っていないため、結果として現れている。	家族参加型の交流をもっと増やせるように企画を考えていく。
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	防災訓練は年に2回行ってはいますが、連絡ノートだけの発信になっているため、全体への周知が行き届いていない部分がある。	連絡ノートだけではなく、月間スケジュールで発信していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達・放課後等デイサービス あったサポート

公表日 年月日

利用児童数 年月日

回収数

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1			充分だと思う。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11			1	いつも舌の訓練ありがとうございます。発音がよくなったことと、いつも口が開いていたのが気にならなくなっています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				課題、目標、計画が明確であると感じている。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1				
	11 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12				家庭では実践できないような交流があり感謝している。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11			1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2		2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11			1	子どもだけでなく、家庭のペースも尊重して下さり、必要なときには、助けて欲しいと頼りやすい存在になっています。これは保護者にとって何よりの支えです。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3				
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			1		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12					
非 常 時 等 の 対 応	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			1		
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2		2		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			3		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			3		
満 足 度	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12					
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	12					
29 事業所の支援に満足していますか。	12				期待以上の満足度です。とても丁寧に接して頂き、感謝しています。		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達・放課後等サービスあったサポート		年 月 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	8		人員配置、送迎については、子ども達が保護者や事故がないよう安全に配慮し、職員への負担も考えつつ配置を行っている。	配置数は適切だろうが、送迎で複数の職員が出る時間帯になる。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく機能化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		生活空間は、余額運動、学習、落ち着けるスペースなど子ども達に提供し、情報伝達では視覚、聴覚、音声などで職員間で情報共有を行っている。	情報伝達としてホワイトボードを活用しているが、うまく活用しきれていない。子ども達の動向にも、もっと活用方法があると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	8				
業務改善	5 必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を使用することが認められる環境になっているか。	7	1			
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	8				
	7 保護者向け研修等により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげられているか。	8				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげられているか。	8				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげられているか。	7	1			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8				
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		毎の療育を写真で記録して療育内容が変わった時にも動画などで知らせている。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、放課後等サービス計画を作成しているか。	8				
	13 放課後等サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの療育の利益を考慮した検討が行われているか。	8		職員間で聞き取りを行い作成後、全体で共有を行っている。		
	14 放課後等サービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		個別が出来上がるごとの方々にもそれを踏んで、方針性をしっかり理解して療育につなげられている。		
適切な支援の提供	15 こどもの発達行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16 放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	こどもの成長を見ながら、工夫している。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	8				
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8				
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげられているか。	8				
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8				
	24 放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8				
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促すための支援を行っているか。	8				
	関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8			
		27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
		28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確保等）、施設調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
		29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を図っているか。	8			
30 学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		8				
31 地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		7	1			
32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		学園さん、児童館さんとスポーツレクレーションを通して交流を行っている。		
33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。		7	1			
34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		8				
35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		8				
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
	37 放課後等サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				
	38 「放課後等サービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等サービス計画の同意を得ているか。	8				
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8				
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を創出しているか。また、きょうだいで同じ土で交流する機会を創出する等の支援をしているか。	8		クリスマス会を通して保護者同士の交流の場を作っている。		
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				
	42 定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		公式サイトを通じて日々の様子発信している。		
	43 個人情報取扱いに十分留意しているか。	8				
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8				
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を行っているか。	7	1			
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		年に2~4回以上行われ、連携の不足な所改善を図っている。		
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的に避難訓練を行っている。		
	48 事前に、地震や火災、感染症等のこどもの状況を把握しているか。	8				
	49 食料アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	契約前のアセスメントを細かく聞き取りを徹底に行っている。		
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8				
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8				
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8				
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8				
	54 どのような場合にむを身に身付物等を着けようかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか。	8				